

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
横浜医療秘書歯科助手専門学校	平成2年3月16日	坂本 紀典	〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-18-3 (電話) 045-402-9878
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法及び私立学校法の規定に基づき歯科助手及び医療秘書に関する専門知識及び技術を習得させ、職業若しくは実生活に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
医療秘書科	2年	80人	160人
診療情報管理士科	3年	40人	120人
医療事務科	1年	30人	30人
くすりアドバイザー科	2年	35人	70人
歯科アシスタント科	1年	35人	35人

<カリキュラム（科目配当表）について>

カリキュラム（科目配当表）
https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/pdf/curriculum.pdf

<シラバスについて>

学科	学年	シラバス
医療秘書科	1年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
	2年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
診療情報管理士科	1年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
	2年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
	3年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
医療事務科	1年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
くすりアドバイザー科	1年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
	2年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-
歯科アシスタント科	1年	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごと）に一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件と「目指すべき人材像」について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
医療秘書科	医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する
診療情報管理士科	<ul style="list-style-type: none"> ・即戦力の医療事務員として、病院・クリニックにおいて、受付対応・看護補助者・医師事務作業補助者ができる知識を有する。 ・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、高度なパソコンスキルを有する。 ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。
医療事務科	医療事務員として、病院・クリニックにおいて即戦力として受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する
くすりアドバイザー科	登録販売者資格を取得し、ドラッグストア・薬局・薬店等、薬業界において、即戦力としてお客様・患者様対応が出来る知識・技術を有する
歯科アシスタント科	歯科助手、歯科医療事務の知識・技術を活かし、お客様、患者様の対応ができる。歯科医院において即戦力となる。

<取得可能な資格について>

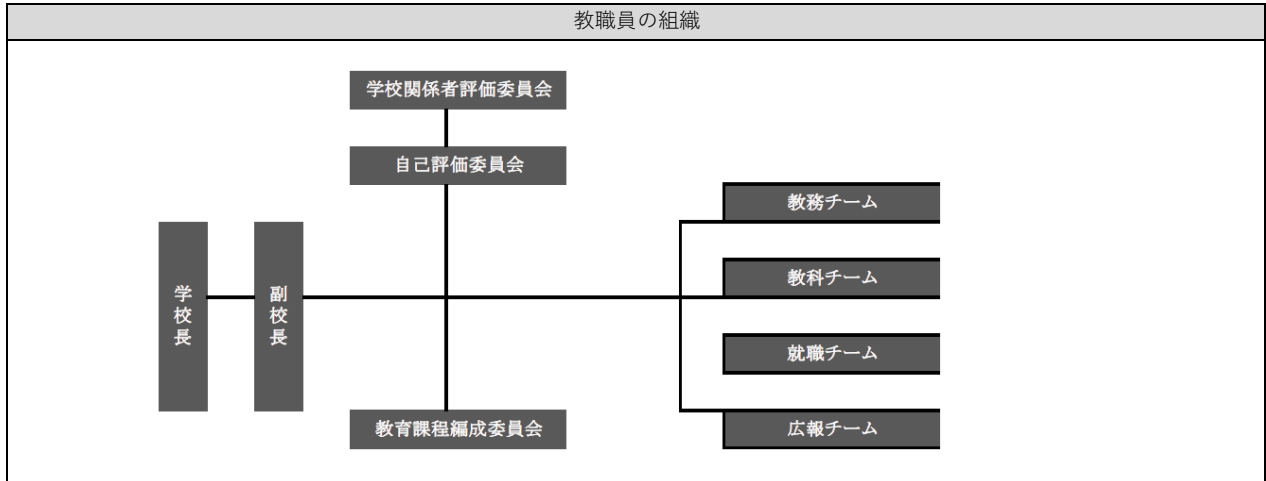
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	14
兼任教員	29
事務職員	5



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
露木 久則	医療管理総論 診療情報管理	診療情報管理士・栄養士免許 医療法人恵仁会 松島病院診療情報管理室 部長
大場 しずか	口腔外科・矯正 歯科医療事務	歯科衛生士免許・歯科医療事務検定1級 歯科医院にて歯科衛生士として10年以上勤務
本間 篤	基礎医薬品 資格試験対策(登録販売者)	薬剤師国家試験 薬局にて薬剤師として活躍
丹野 紀子	看護学 疾患学	正看護師免許・介護支援専門員免許 某大学病院にて看護師とし10年以上勤務
北川 久子	医療事務 医事C P・電子カルテ	医療事務検定1級・医事コンピュータ技能検定 病院勤務にて病棟クラーク、小児科クラーク、医療事務を経験

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/jobdata/support.shtml
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p><医療秘書科></p> <p>医療機関実習Ⅰ：1年次10月に約5日間（40単位時間）の医療機関体験・見学実習を行う。医療事務業務の全般を理解し、実務内容を学ぶ。医療機関からの評価をもとに今後の課題を発見させ、学内での学びを深めていく。実習前に実習の目的を受け入れ機関と担当教員が行い、教育効果の高い実習が出来るように調整している。</p> <p>病院実習：2年次6月に約4週間の医療機関実習を行う。医療事務の業務の体験・実践を行い、今後の課題発見・就職活動・就職後につなげていく。実習前に担当教員と受入機関が打合せを実施し、実習中も巡回を行い、実習の目的を果たせるような環境設定をしている。</p> <p><診療情報管理士科></p> <p>病院実習：2年次11月に約4週間の医療機関実習を行う。診療情報管理士業務を2週間以上実施し、医療機関における診療情報管理士の役割・他業種連携・業務内容について理解する。実習前に担当教員と受入機関が打合せを実施し、実習中も巡回を行い、実習の目的を果たせるような環境設定をしている。</p>
	<p><歯科アシスタント科></p> <p>臨床実習：1年次11月に約2週間（90単位時間）の歯科医院実習を行う。実務の見学や体験を通じて、業務の理解を深める。実習前に担当教員と受入機関が打合せを実施し、実習中も巡回を行い、実習の目的を果たせるような環境設定をしている。</p>
	<p><くすりアドバイザー科></p> <p>インターンシップ実習Ⅰ：1年次年間を通じて、225単位時間の実施を最低ラインとし、基本は月80時間の実習を目標にドラッグストアでの実習を実施する。</p> <p>インターンシップ実習Ⅱ：2年次年間を通じて、240時間の実施を最低ラインとし、基本は月80時間の実習を目標にドラッグストアでの実習を実施する。</p> <p>いずれの実習も実習巡回を実施し、学校教育への理解と評価への協力等、受入機関との連携を密に実施している。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応
<p>担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。</p> <p>また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。</p>

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/yokohama-med/guideline_2020/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/yokohama-med/jobdata/support.shtml

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---

⑨学校評価

自己評価・学校関係者評価結果	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/yokohama-med.pdf
----------------	---